

図書館だより

発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

**【主な内容】アンデルセン生誕200年 児童書研究展示(中央図書館)【2面】
地区図書館と分館の催し等紹介【3面】**

- 千葉市中央図書館**
千葉市中央区弁天3-7-7 TEL043-287-3980
- | | |
|----------------------|-----------------------|
| みやこ図書館
(233-8333) | 白旗分館
(264-8566) |
| 花見川図書館
(250-2851) | 花見川団地分館
(250-5111) |
| 稲毛図書館
(254-1845) | 西都賀分館
(254-8681) |
| 若葉図書館
(237-9361) | あずみが丘分館
(295-0200) |
| 緑図書館
(293-5080) | 土気図書室
(294-1666) |
| 美浜図書館
(277-3003) | 打瀬分館
(272-4646) |
| 移動図書館
(287-3983) | |



館内の様子

館内に「おはなし会」を開くことのできる部屋ができたおかげで、毎回50人近くの児童が集まって、開始時間前からぎわっています。参加者の評判もとてもよく、毎月楽しみにしているとの声をいただいています。

館内には、いろいろな改善点や問題点のご指摘をいただくこともあります。今後も「利用者の皆様の声」を参考に、より親しみやすく利用しやすい図書館づくりに努めていきますのでどうぞご協力ください。

旧花見川団地分館と比較すると約3倍の広さがあり、明るく素晴らしい環境です。プラウジングの前は全面ガラスで、4月には公園の桜が見事に咲き誇り、5月は新緑の映える時期で、まるで高原の図書館にいるようです。さて、オープン後、以前からご利用いただいている地域の皆様からは「待ちに待った素晴らしい施設ができて、大変うれしく思います。ますます利用させてもらいます。」と喜ばれています。以前と比べると、貸出・返却数の増加はもとより、登録(再交付も含め)は開館2ヶ月ですでに昨年度1年分よりも多くなっています。リクエストや利用者の数も例年より5倍近く、土・日の入館者は、1日に1000人を超す盛況ぶりです。図書館職員も、フル回転でがんばっています。図書館職員も、フル回転でがんばっています。



花見川団地分館の外観

花見川団地分館 リニューアルオープン!

千葉市花見川図書館花見川団地分館が、平成17年4月1日、全面改築してオープンしました。花見川市民センターと青少年補導センター(北分室)との複合施設ですが、入り口は別で独立しています。

参加された方からは、このような感想が寄せられました。図書館に初めて来館された方がほとんどでしたので、これからも図書館で中国語の本をはじめ、沢山の本を楽しんでいただきたいと思います。

また中国語のおはなし会をやっ
てほしいです。

られました。最後に春にちなんだ中国の歌を、手拍子にのせてみんなで歌い、会場は和やかな雰囲気になりました。中国語は難しかったけれど楽しかった。『もりのなか』は日本語と一緒に読んでくれたのでわかりやすかった。



おはなし会当日の様子



中国語の絵本

おはなしの中で「ぐり・ぐり」「さんぼ」など日本語と同じ発音が出てくるので、より一層親しみがわき、流れるような中国語の響きと一緒に楽しい絵本の世界がくりひろげ

外国語おはなし会
「中国語で楽しもう! 絵本の世界」

4月23日(日)中央図書館では、「千葉市子ども読書活動推進計画」の一環として、「子ども読書の日」にちなみ、中国語を母国語とする子どもや、中国語でお話を聞きたい子どもを対象に、おはなし会を開催しました。参加者47人という盛況ぶりでした。

語ってくださいしたのは、3人の中国からの留学生の方です。プロگرامは子どもたちに親しまれている絵本『ぐりとぐら』『もりのなか』『わたしのワンピース』の3冊です。

中央図書館のページ

アンデルセン生誕200年

児童書研究展示



中央図書館1階の児童書コーナーには展示スペースがあり、それぞれ月ごと・季節ごとにテーマを変えて資料の展示を行っています。

児童書研究コーナーでは、児童文学の作家・作品研究、作品の舞台となった地域の紹介、読書案内、児童図書館の運営についての本などを揃えています。

今年アンデルセンが生まれてから200年にあたります。

ハンス・クリスチャン・アンデルセンは、1805年4月2日、デンマークのオーデンセに、貧しい靴職人の子として生まれました。14歳で役者を志してコペンハーゲンに立ちました。成功しませんでした。

30歳のとき、イタリア旅行の体験を綴った「即興詩人」で才能を認められ、その後『人魚ひめ』『はだかの王様』など多くの童話を書き、70歳で亡くなるまでに150編あまりの作品を発表しました。今でも「童話の王さま」として、世界中の人々に愛されています。

当館では今年度、アンデルセンについて、1年間下記のような内容で紹介していきます。



● 4～6月

『おやゆびひめ』『人魚ひめ』
絵本を中心に、アンデルセンの伝記や作品研究書も併せて紹介。

同じ作品でも画家の描き方によって雰囲気がいぶん違うものです。

● 7～9月

『みにくいアヒルの子』『赤いくつ』
生まれ育ったデンマークの町並みを描いた本の紹介。

『旅の絵本6』（福音館書店）には、場面のあちこちに有名な作品が隠れていますので、手にとってご覧ください。

● 10～12月

『マツチ売りの少女』『モミの木』
明治時代から現在までの、日本での翻訳・挿絵の変遷紹介。

文化の違いや戦争の影響で、登場人物が和服を着ていたり、日本名がつけられたりしています。

● 1～3月

『はだかの王様』『雪の女王』
アンデルセン作の切り絵の紹介。

あまり知られていませんが、切り絵の作品も残しています。芸術家としての活動を紹介します。

なお、ガラスケースに展示している資料をご覧になりたい場合は、児童カウンターにおたずね下さい。

利用者サービスあれこれ

ご存知ですか?こんなサービス

対面音声サービス

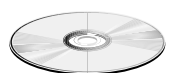
千葉市図書館では、図書館利用に障害のある方に対してサポートを行っています。その一つに「対面音声」があります。

これは、視覚障害等により活字による読書が困難な方に、対面で図書館資料の活字を音に訳すサービスです。

利用できる方は、千葉市内にお住まいで身体障害者手帳をお持ちの方、または図書館長が特に必要と認められた方です。

ご利用の際は、5日前までに希望日と資料名を電話等でご連絡ください。

一回にご利用できる時間は2時間です。詳細については、実施館(中央・みやこ・花見川・稲毛・緑)へ直接お問合せください。



企画展示のご案内

1階展示コーナーでは7月20日まで、「ドイツを知ろう!」「日本におけるドイツ年」によせて「をテーマに企画展示を実施しています。

文庫コーナー側には、『なつかしの課題図書』と題して、過去の課題図書を揃えました。

また7月22日からは、『世界の絵本原画展』をテーマにした展示を実施する予定です。ぜひ一度ご覧ください。



1階展示コーナー

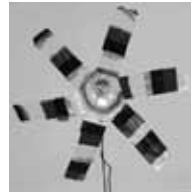


1階文庫コーナー

地区図書館 & 分館のページ

みやこ図書館

夏休みにチャレンジ!
待ちに待った夏休みが近づいてきました。夏休みは、ふだんやりたいたいと思ってもできずにいることに挑戦するよい機会です。



ペットボトルで作ったかざぐるま(昨年度)

みやこ図書館では、図書館にある本を参考に簡単な工作をします。昨年は、ペットボトルで作ったかざぐるまが大変好評でした。今年は牛乳パックを使います。ぜひご参加ください。

なお、小学3年生対象の「こども一日図書館員」の募集もおこなっています。申込方法は、市政だより7月1日号をご覧ください。

日時 8月4日(木) 午前10時~12時
対象 小学生(30名・多数の場合抽選)

若葉図書館・西都賀分館

夏休み、図書館に行こう!
いよいよ楽しい夏休みが近づいて来ました。この夏たくさん子どもたちが一冊でも多くの楽しい本と出あってほしいと思っています。そこで、心に残る思い出作りとして若葉図書館と西都賀分館では、普段とは違った雰囲気のおはなし会を企画しました。ぜひ友達と一緒に参加してみませんか?

実施日

若葉図書館 7月26日(火)

西都賀分館 7月27日(水)

時間・対象

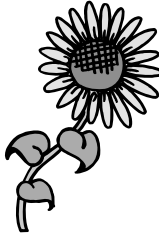
午後3時から(3・4歳児)

午後3時45分から(5歳から小学校低学年)

内容 絵本の読み聞かせ・手遊び等

場所 おはなしのへや

ぜひお友達と一緒に参加ください。



花見川図書館

今年も子どもの催しがいっぱい
4月23日実施の「子ども読書の日おはなし会」は大盛況で終わりました。これから、夏に向けては、夏休みお楽しみ会、子ども一日図書館員、夏休み映画会と、「子どもの催し」が盛り沢山です。
秋以降は親子で楽しむ絵本講座、冬の映画会とおはなし会等を予定しています。

第11回郷土史講座

千葉市に関連するテーマで郷土史講座を開催しますのでご期待ください。なお、昨年は「青木昆陽」を題材に実施し、参加者は、講師のユーモアを交えたお話に熱心に聞き入っていました。



郷土史講座の様子(昨年度)

緑図書館・あすみが丘分館

あすみが丘分館企画展のお知らせ
当館では、定期的に趣向を凝らした企画展を行っています。展示場所は図書館入り口横の新书推荐コーナーを活用しています。規模は小さいですが、利用者みなさんに楽しんでいただけるようスタッフ一同努力していますのでぜひお立ち寄りください。

夏の企画展「しずく博士の雨教室」

(展示期間 7月31日まで)

じめじめと憂鬱な梅雨・・・
とくま、

「雨はいつまで降るんだろう?」

「梅雨って何?」

など、雨についての疑問・質問に、

しずく博士がお答えします。

また、緑図書館では「なつかしい日本の風景 谷津田展」を7月20日まで開催しています。



稲毛図書館

おはなし会は、3歳から小学生までの方であればどなたでも自由に参加できます。おともだちといっしょに参加してみませんか?

実施日 毎週金曜日(4月より、月3回から毎週金曜日に変更になりました。)

時間 午後3時から(3~6歳の幼児)

午後4時から(小学生)

内容 絵本・本の読み聞かせ

場所 おはなしのへや

なお、7月には、小学生対象の図書館クイズ「名探偵になれるかな?」

秋には3歳児と保護者の方を対象に絵本やわらべ歌を紹介する講座などを予定しています。これらの開催日程は、館内掲示などでお知らせします。ふるってご参加ください。



美浜図書館

図書館では、子どもが本と出会う機会をできるだけ多くつくるため、定例のおはなし会以外にも行事を開催しています。春に実施した図書館クイズもその一例ですが、今後の美浜図書館の行事予定を紹介いたしますので、ぜひご参加ください。

まず小学生を対象に「夏休み・おはなし会」を開催します(7月27日)。あわせて、簡単な工作遊びを用意していますので、どうぞお楽しみに。

また、幼い子を本の世界に導くには、家庭との連携も大切です。そこで、保護者を対象に、2歳児のための親子で楽しむわらべうたと絵本の会や、親子おはなし会を、各2回予定しています。

事前申込の必要な行事もありますので、詳細は、直接美浜図書館にお問い合わせください。

☎277(3003)



レファレンス事例 ⑤

千葉県の勝浦に与謝野晶子の「上総の勝浦」という詩碑があるが、この詩はいっ創られたのですか？

問い合わせをされた方は、「定本与謝野晶子全集一〇(講談社)」に、初出が「婦人の友 大正八年十月」とあったので、その年より前に勝浦の地にきてこの詩を詠んだのではないかとということでした。「上総の勝浦」について当館所蔵の与謝野晶子研究書・地域資料の書架を探したところ、房総文学散歩 中巻(鳥海宗一郎著 千秋社)、「文学の旅千葉県(鳥海宗一郎著 龍書房)」、「外房 文学のふるさと(斎藤弥四郎著 論書房)」、「新名作の舞台わが房総に魅せられた36人の作家(千葉相互銀行)」の資料に関連記事がありました。が、いずれの記事にも、房総を訪れているのは、昭和11年・12年の2回でありそのいずれかに詠まれたものと思われるとあります。婦人の友社に確認したところ、間違いなくその号に収録されているとのことでしたので、大正期の来訪の記事を探しましたが発見できませんでした。

そこで、勝浦市の図書館へ調査依頼をしたところ、詩碑の建立された時の新聞記事および鶴原理想郷で詠んだ歌についての資料をいただきましたが、この資料にも房総を訪れたのは昭和の2回となっており、明確な日時を確定する資料を探すことが出来ませんでした。もしご存知の方がいらっしゃいましたら、お教えいただければ幸いです。



ダンボの耳 《図書館Q&A》

「個人情報保護について」
現在さまざまなメディアで話題になっている個人情報保護について、図書館ではどのように取り組んでいるのでしょうか？



平成17年4月1日から「千葉市個人情報保護条例」が施行されましたし、地方公務員法の中には、守秘義務(公務上知りえた秘密を漏らしてはいけないという義務)が明記されています。また、「図書館の自由に関する宣言(1954年)」及び、「図書館員の倫理綱領(1980年)」の中でプライバシーの保護をうたい、住所・氏名はもとより、その人が何に興味をもち、何を読んでいるか等の個人情報すべてについて慎重な取り扱いをしています。例えば、個人の貸出記録は返却と同時に消去されるシステムにしていますし、リクエスト・カード等個人情報を含む用紙類は処理がすむとシュレッダーにかけます。またリクエスト連絡や返却督促の電話の際、本人以外には書名を伝えないなどして、個人情報保護に努めています。

移動図書館車「いずみ号」

平成17年2月より「若松町」の一部が「若松台」に住所表示変更されました。この地区の2つのステーションを紹介いたします。若松台ステーションは若松台西公園内で、同じく第2・松第二ステーションは若松第二公園内です。第4土曜日の10時40分から、若松第二ステーションは若松第二公園内、同じく第2・第4土曜日の10時50分から11時20分まで、どうぞご利用ください。



おすすめの本(話題の本) 『絶対泣かない』山本文緒著(角川文庫他)

図書館にはいろいろな職業の方が様々な目的をもって来られます。この本は2001年「プランナリア」で直木賞を受賞した山本文緒の短編集で、15種類の職業の女性が登場します。営業部員、体育教師、主婦、漫画家、銀行員等、皆身近に感じられる職業の人ばかりが主人公です。人はなぜ働くのでしょうか。お金のためにも働き、お金のためでなくとも働くのです。この本は職業への価値観についての本というのではなく、様々な職場で起こるいろいろな人間関係とハプニングの中で、自立を求め、夢を追いつける主人公たちの生きる姿に、女性だけでなく男性も、共感したり、元気をもらったたり、暖かい気持ちになれる本です。この本を読まれた方は「ブラック・クォーター」もおすすすめです。



中央図書館カレンダー

2005年7月							休館日	
日	月	火	水	木	金	土	1	2
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								
2005年8月							休館日	
日	月	火	水	木	金	土	1	2
7	8	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	31					
2005年9月							休館日	
日	月	火	水	木	金	土	1	2
4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30			

開館時間等
 ・火～金 9:30～21:00
 ・土日祝 9:30～17:30
 ・祝日開館(中央図書館のみ)

地区図書館カレンダー

2005年7月							休館日	
日	月	火	水	木	金	土	1	2
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								
2005年8月							休館日	
日	月	火	水	木	金	土	1	2
7	8	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	31					
2005年9月							休館日	
日	月	火	水	木	金	土	1	2
4	5	6	7	8	9	10		
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30			

開館時間等
 ・9:00～17:00
 ・分館は、木曜日13:00～
 ・土気図書館は火・水・土の13:00～17:00